

岸田首相がマニラ首都圏地下鉄視察

オリコンサルグローバルが施工監理

オリエンタルコンサルタンツグローバルが施工監理を担当する「フィリピン国マニラ首都圏地下鉄」C P 101工区の現場を岸田文雄首相が視察した。4日に同国ハイメ・パウティスタ運輸大臣が案内した。岸田首相は、同社が実施している「フィリピン鉄道訓練センター設立・運営能力強化支援プロジェクト」で運転士育成に活用される予定の運転シミュレーターも体験した。

日本政府ODA（政府開発援助）資金と無償資金協力で実施される



延長34キロのマニラ首都圏地下鉄は、2029年の開業を目指して現在工事が進んでいる。今回首相が視察したC P 101工区はマニラ地下鉄工区の最北端に位置し、4駅と一つの車両基地が含まれる。清水建設JVの施工で今年1月にはフィリピン初のトンネルボーリングマシンが発進している。